



平成20年度 当初予算

▶ 財政課 ☎(20)3003

平成20年度予算は、2月市議会定例会（3月14日閉会）で可決されました。
一般会計の予算規模は、417億4,000万円です。また、9つの特別会計を合わせた予算規模は281億2,490万円となっています。
なお、平成19年度予算と比較しますと、一般会計で3億3,000万円増（0.8%増）、特別会計で65億7,750万円減（19.0%減）となっています。

地域の特色を活かした 快適なまちづくり

災害時における避難誘導などの重要情報を迅速に伝達できるよう、防災行政無線システム整備事業を引き続き推進します。

中心市街地活性化の拠点施設として、佐野商工会議所が1階フロアを「仮称）まちなか賑わい交流センター」として整備しますが、これを支援します。

佐野新都市地区内の交通渋滞の緩和、また、地域経済の活性化を図るために、佐野サービスエリア・スマートIC接続道路整備事業を推進します。

やわらかく元気なまちづくり 健康福祉ひろ

生活習慣病の予防対策として、正しい知識の普及や適切な指導・支援を行うため、健康教室を開催します。

子育てと仕事の両立支援をさらに推進するため、放課後児童健全育成事業に短時間対応指導員を新たに導入します。

市民病院は、平成20年度半ばに指定管理者に移行できる見込みですが、中核病院としての役割を1日も早く回復できるように引き続き取り組みます。

● 会計別当初予算額 ● (率は前年度対比伸率)

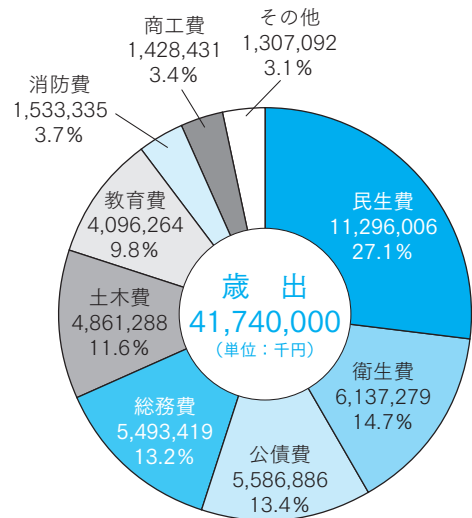
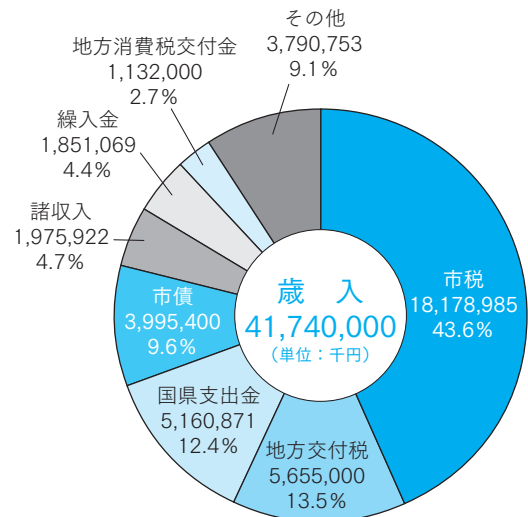
一 般 会 計		417億4,000万円	(0.8%)
特 別 会 計※	国民健康保険事業 (事業勘定)	139億9,680万円	(2.7%)
	国民健康保険事業 (直営診療施設勘定)	3億4,290万円	(△ 4.0%)
	公共下水道事業	37億2,800万円	(1.2%)
	老人保健事業	9億9,190万円	(△ 89.3%)
	農業集落排水事業	2億1,360万円	(40.6%)
	自家用有償バス事業	4,090万円	(△ 46.9%)
	介護保険事業 (保険事業勘定)	73億930万円	(5.3%)
	介護保険事業 (介護サービス事業勘定)	3億8,940万円	(△ 26.5%)
	後期高齢者医療	11億1,210万円	皆増
	計	281億2,490万円	(△ 19.0%)
水道事業会計	収益的収入	21億986万9千円	(△ 0.8%)
	収益的支出	21億8,555万円	(△ 4.7%)
	資本的収入	7億5,823万8千円	(1.4%)
	資本的支出	22億6,232万7千円	(17.5%)
病院事業会計	収益的収入	24億4,729万円	(△ 7.5%)
	収益的支出	24億4,729万円	(△ 7.5%)
	資本的収入	3億1,739万6千円	(88.9%)
	資本的支出	7億2,746万5千円	(221.7%)

※平成19年度までは「市民保養施設事業特別会計」がありました

予算編成の基本姿勢

平成20年度予算は、「第1次総合計画前期基本計画」および「行政経営方針」の推進を基本に編成しました。

● 一般会計予算の内訳 ●



市民生活の向上
暮らしの向上
 人権尊重のまちづくりや、市民の皆さんとの協働、男女共同参画社会の実現に向けての各種事業を推進します。

豊かな心を育て
教育・文化の向上
 外国青年英語指導助手の人員増を図り、本市英語教育のさらなる充実を努めます。校舎耐震補強や各種教育施設設備の整備を進め、児童・生徒の学習環境改善や安全確保に努めます。郷土の歴史的文化遗产である唐沢山城跡の国指定史跡化に向けて、調査を行います。

魅力と活力ある産業づくり
 野生鳥獣、特にイノシシによる農作物などへの被害が深刻な問題となっておりますので、有害鳥獣捕獲事業をさらに推進します。万町駐車場を24時間対応型の駐車場として整備し、利用者の利便性の向上を図ります。首都圏からの観光誘客を図るため、観光事業者との連携強化に引き続き取り組みます。